



山五小

# おひさま通信

ホームページ「山形市立第五小学校」で検索

平成29年度  
3月号①

山形市立第五小学校  
平成30年2月28日  
校長 三森 聡

## 児童会伝統の**黄金の鍵**が手渡されました

### — 児童会引き継ぎ式 2.15 —



五小児童会の『黄金の鍵』を掲げて

「五小思草」の旗を掲げ、朝の挨拶運動をリードしたり、なかよし班の活動がみんな楽しくできるようにいろいろな企画をしたりして、1年間引っ張ってきてくれた6年生から『黄金の鍵』が5年生にバトンタッチされました。

5年代表の今野雄大さんは、その『黄金の鍵』を思い切り両手で掲げながら、「これまで学校を引っ張ってきてくれた6年生に代わって、今度は僕たちが楽しい学校をつくっていきます！」と声高らかに宣言をしました。その姿を見つめる6年生は安心したようで、温かい拍手を返してくれました。



6年の各委員長より  
委員会ファイルの引き継ぎ

## “いざというときの避難所支援を考える”

### 5・6年ジュニプロの地区での赤十字活動 2.17

五地区のJRC団体との連携として、5・6年の児童会ジュニプロのメンバーが、実際に体育館が避難所になったことを想定し、いざという時に役立つように炊き出し訓練の手伝い

をしました。また、不安がる子ども達に、防災すごろくやカルタなどをして楽しませるための方法を考え合いました。



袋に米を入れての炊き出し訓練



防災すごろくで盛り上がる子ども達



防災カルタで防災知識を学ぶ

**みんなの協力で集まった**  
**ペットボトルキャップ 92.4kg / プルタブ 13.2kg**  
**—エコキャップ推進運動 健康福祉委員会—**



エコキャップ贈呈式

ペットボトルキャップのリサイクルによる収益金で、開発途上国の子ども達にワクチンを届けようと児童会の健康福祉委員会を中心に収集した**キャップの重さは、92.4kg**ありました。それぞれ袋に入れたそのキャップを持ち上げてみると、ずっしりと重く両手で袋を抱えるだけでせいっぱいでした。



ペットボトルのキャップを掲げる児童会健康福祉委員と山形銀行の方々

になるようです。

また、山形市「日本一の芋煮会」の新しい鍋の購入に役立ててもらおうとプルタブ回収も併せて実施したところ、段ボール1箱分**13.2kg**もプルタブが集まりました。エコキャップやプルタブをわざわざ学校に届けにきてくださった、たくさんの保護者や地区の方々に感謝申し上げます。

3月7日(水)山形銀行東原支店長さんをお迎えして贈呈式を行いました。プラスチックの現在の相場価格によりますと、**6.7kg**(エコキャップ2,870個)で一人分のポリオワクチンが購入できるということでしたので、**約13人分**の子ども達の命を救うことができましたということ



商工会議所青年部大鍋製作プロジェクトの皆さんに贈呈した袋いっぱいプルタブ